

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年6月12日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691400032
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム たるみず太陽の家
所在地	鹿児島県垂水市浜平2189-6 (電話) 0994-32-5030
自己評価作成日	平成26年5月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年6月10日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着型グループホームを目指すと共に、自然と触れ合いながら質の高い介護サービスを提供し、要介護状況の軽減と悪化の予防に、最善を尽くしています。家庭的な雰囲気の中で日常の生活を皆で支え、楽しく過ごして頂けるよう支援しています。すぐ目の前の畑で入居様と一緒に、花や野菜を作り、育ち具合や収穫の楽しみを味わい日々の食材として料理に使用しています。保育園の運動会や、地域のお祭り・千本銀杏見学・お花見・気晴らしいのドライブ等、外出を多く取り入れ、入所者様とご家族に喜んで頂いています。季節ごとの行事では、地域の方が踊りや見学に来てくださり、盛り上げて頂いています。新鮮な野菜や果物の差し入れも多く、消防訓練など地域の協力に支えられています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは海に近く、美しい夕日や桜島、鹿児島市内の美しい夜景が眺められる素晴らしい環境にあり、目の前にはメロンのハウス栽培が広がっている。ホーム周囲は垂水市、花推進運動にちなみ、種々の花々が植えられ、利用者や訪れる人々の癒しになっている。職員は認知症に熟知し、入居当初の利用者に対しては一人の職員がつきっきりで1対1の密接な関わりを持ち、確かな信頼関係が生まれる支援をしている。入浴嫌いや睡眠障害に対しても毎日の生活スタイルを重視、試行錯誤の試みの中から結果を出す創意工夫がなされ、達成できた喜びを体感する支援につなげている。ホーム内は清潔に保たれ、換気や温・湿度計でフロアや室内の状態を把握し、常に良い体感状態を維持し、利用者の体調管理、症状緩和に努めている。理念に謳っている「地域に根ざした共同生活住居としての地域交流」にも力を入れ、町内会の総会出席、行政の研修会や地域イベントなど積極的に参加、ホームの催しにも多数の地域住民参加を得て、相互作用の相乗効果を生み出している。家族アンケートのコメントでも、「気軽に立ち寄れて、職員も笑顔で迎えてくれる」「外出を多く取り入れ、気分転換やストレス発散に繋がる支援ができています」等の評価を貰っている、明るく楽しい雰囲気のホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝礼時に理念の唱和を行い、理念に沿った地域密着型のサービスを心がけ、実践に取り組んでいる	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念をつくり、毎朝、理念を唱和、管理者・職員は共有し、実践につなげている。代表者・管理者・職員の努力もあり、事業所と地域の交流が深まっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者が地域とのつながりが保てるよう、地域の奉仕作業や催し物に積極的に参加し、日常的に交流している。	自治会に加入し、総会にも出席している。地域行事のおんだんこ祭りや文化祭・運動会等に参加している。散歩や買い物時、農作業中の地域の方々と日常的に挨拶や言葉を交わしている。ホーム主催の夏祭りや健康体操等に多くの住民参加を得ている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	夏祭りや敬老会などに、地域の参加を呼び掛け、催し物の楽しみを分かち合い、認知症の人への理解も得られている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、現状報告や活動報告を行い、ご家族や運営推進委員の意見や提案を頂き、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の意義を理解を貰い、市議や行政、公民館長、消防団、民生委員、家族代表の参加を得てホームの取り組み状況、サービス内容等の報告や地域の情報を下に参加者の意見、提案を貰いサービスに活かしている。今後は行事にからめたり、参加者に興味や学びの会議になるよう計画している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者とは、日頃から連携を密に取り、わからない事や相談事など指導して頂き、市主催の研修会にも参加している。	市の担当者とは事務手続きの他、報告や相談を行ない助言を貰っている。行政の研修にも積極的に参加し、日頃から連携がとれ、良好な関係である。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	2か月に1回、身体拘束委員会を行い記録している。研修会にも積極的に参加し、身体拘束を正しく理解し、拘束しないケアを行っている。	身体拘束廃止については重要事項説明書に明記、マニュアルも準備している。身体拘束委員会を設置し、勉強会を2か月に1回実施、全職員が身体拘束の具体的な行為を理解し、ケアに取り組んでいる。昼間は玄関の施錠はせず、見守りにて自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は高齢者虐待等について学び、入浴時にあざや傷がないか注意を払い、身体や言葉の虐待がないよう防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会に参加して内容を理解し個々の必要性があれば対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には重要事項説明書や契約書をもとに十分な説明を行い、不安や疑問点を伺い理解・納得を図っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の生活の中や家族の面会時に、管理者や職員に意見が言いやすい関係性作りを行い、家族会でもアンケートを記入して頂き、運営に反映している	「たるみず太陽の家便り」を発行し、ホームでの利用者の状況を報告している。年2回、家族会を開催、アンケートを実施したり、面会時や運営推進会議でも家族が意見を言いやすい関係作りを行っている。重要事項説明書に第三者委員も明記している。相談や意見は話し合い、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティングで行事予定など、職員の意見や提案を聞き運営に反映している ケアについての問題は職員間の申し送り帳に記入でき、すぐ話し合い運営に反映されている	職員の気づきや意見、提案は申し送りの中で話し合い、共有している。代表者・管理者はミーティングや機会ある毎に職員の意見や要望を聞くようにし、運営に反映している。職員採用に当たっては地元出身者を優先し、資格支援も行っている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は働きやすい職場作りにも力を入れており、職員の努力や実績等、管理者会議やミーティングで把握している やりがいなど各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は、介護の質のレベルアップを重要視され個々の力に応じた研修会を積極的に受ける機会を確保している、その時季に必要な内部研修も行い、働きながら育成することにも力を入れている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大隅地区介護事業所連絡協議会に加入し、勉強会や交流会に参加している。他事業所との交流会を行い、情報交換やサービスの質の向上に役立っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に必ず事前面談を行い、心身の状態や生活状況等を、職員全員が把握し、信頼関係を築ける様に努めている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用を開始する段階で、話しやすい雰囲気作りを心掛け、これまでの介護の状況、家族の悩みなどを傾聴し、家族の不安解消と信頼関係作りに努めてる</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時、本人と家族の状況を確認し、その方のニーズに合った支援が受けられるように対応している</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は、本人が介護をされているという一方的な立場に成らないよう、利用者と家族的な暮らしが築けるよう努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や毎月のお便り、電話などで利用者の様子をお伝えし、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支える関係作りを心掛けている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚や知人との面会も自由にでき、希望があれば自宅近くまで出かけたり、買い物にも同行している。家族、知人などの交流も行っている	「安心ノート」に本人を取り巻く人間関係や馴染みの人や場所等の情報を記載している。利用者の要望を聞いて、自宅周辺へのドライブや地域行事、祭り等に出かけ、馴染みの人や場との関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	相性も考慮しながら、座席の配置を工夫し、孤立しないで会話が楽しめるよう心掛け、利用者同志の関係が保てよう努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、これまでの関係性を大切に、面会に行ったり近況を聞かせて頂いたりしながら、相談や支援に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の言動、表情から意向を汲み取り、困難な場合は職員間で検討し、本人本位のケアに努めている	本人の思いや意向はノートに記載し、受け止めている。思いをうまく言葉にできない利用者は日々の言動や表情、素振りから職員間で検討、本人本意のケアに努め、問題行動にならない関わりを支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活環境、生活歴、馴染みの暮らしを本人家族からお聞きし、全職員で把握に努め、サービスにつなげている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりをよく観察し、出来る事出来ない事、心身状態の現状の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮せるように、本人・家族・関係者等の意見を取り入れている。病院受診・面会・外出等ご家族の協力を頂き、介護計画に取り入れ、現状に応じて見直しを行っている	利用者・家族の思いを優先し、好きな外出、散歩、洗濯物たたみ、草むしり等、本人のやりたい事を掲げ、地域でその人らしく暮らし続ける為の個別の介護計画を作成している。随時、モニタリングを実施、3ヶ月に1回は評価し、現状に即したプランであるかを振り返り、見直しを行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活や行動・言動・気づきなど、個別記録に記入し、申し送りやミーティングで情報を共有しながら実践、介護計画の見直しに活かしている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>一人ひとりの家族の状況、ニーズに対応して、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議や市報、回覧などを利用する事で地域資源を把握し、安心安全に豊かな暮らしが楽しめるよう支援している</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の希望するかかりつけ医の、定期受診・訪問診療等の適切な医療を受けられるように医療機関・家族との連携を取って支援している</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の定期受診・訪問診療が行われている。職員に看護師がいて適切な医療を受けられるよう、支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の利用者の心身の健康状態を記録に残し常時、看護師に情報気づきを報告相談し受診時、往診時に報告し利用者一人ひとりに適した看護受診ができるよう支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	日頃から病院関係者と情報交換、相談を行い入院時は利用者・家族・医療関係者・事業所との連携を密にとり早期に退院できるよう支援している。また職員が面会に伺い利用者が安心して治療できるよう必要なことへの援助を行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に重度化・終末期に関する方針を説明し、利用者・家族と早い段階から話し合っている。重度化した場合、関係者と方針を共有し、連携を密に取りながら支援している	入居開始時に「重度化した場合の対応に係る指針」にて看取りについての説明を行っている。ホームでの事例はないが、経験のある系列のグループホームに出掛け、職員は研修中である。段階に応じて関係者と方針を共有、連携を密に支援していく体制を整えている。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の協力を得て、職員全員普通救命講習・応急手当の実地講習を受けている。又 随時事故発生に備えた話し合いを行い、解決策を考えている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の地域の消防団員の協力を得て避難訓練を行い、夜間想定災害訓練も行っている。米や飲料水、レトルト食品を備蓄し、ラジオ・ランタン・オムツなど備品は取り出しやすいよう玄関に保管している	消防署と合同の避難訓練を公民会長、消防団の協力を得て行い、地域住民との協力体制も出来ている。自主訓練も役割りを決めて2ヵ月に1回、実施し、利用者・職員の意識を高めている。通報装置、スプリンクラー、備蓄も確保できている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合わせた声かけを行い、誇りやプライバシーを損ねない声かけを心掛けている	定期的に研修会を開催し、誇りやプライバシー確保について確認し合っている。個人として尊重しながらプライバシーを守り、安心と尊厳のある生活支援に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃から利用者に二者選択法など自己決定出来るように支援している。又、利用者の思いや希望に添えるように心掛けている		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースを大切に、その日の体調を見ながら、起床・レクリエーション・就寝時間など希望に添えるよう支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節に合わせた服装や、本人様の好みを聞きながら、その方らしい身だしなみやおしゃれが続けられるよう支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下ごしらえなど入居者様と職員が共に行い、又 行事食・外食もを行い、食欲の無い方への興味や意欲へとつなげている	管理栄養士の献立を参考に野菜を多くした利用者好みの食事メニューである。利用者・職員と一緒に会話をしながらゆっくり食事を楽しんでいる。行事食・外食の他に歓迎パーティ、退院祝い等、入居者一人ひとりが家族の一員であるという意識から食事でもてなす配慮も実践している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の状況に応じて、ミキサー食まで対応し、食べなくなった方へも介助を続ける事で自分で食べられるようになっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりに合わせた口腔ケアを行っている。夜間は洗浄剤を使用し、義歯の清潔保持に努めている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表により排泄パターンを把握し、自立に向けた取り組みを行っている。尿意、便意が無くなった方も、トイレ誘導を続ける事でわかる様になり、気持ち良く排泄できる日が多くなっている	排泄チェック表で個々のパターンを把握し、声掛け誘導、トイレでの排泄支援に取り組んでいる。自立に繋がる事例も多く、介護度が下がっている利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食事や乳製品・水分摂取に努め、適度な運動を行い腸を刺激し、便秘の予防改善に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴が楽しめるようにし、入浴を拒む利用者様に、声かけを工夫しながら入浴支援につなげている	隔日おきの入浴を楽しんでいる。入浴をためらう利用者に対しては、性格や好みを考慮しながら誘導、職員は達成できた喜びを感じながら支援している。外出支援で足湯も楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の生活リズムを大切にしながら、声かけや見守りを行い、安心して眠れるよう心掛けている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の際には、利用者の名前・日付を、他職員や利用者様と一緒に声出しを行い、誤薬予防に努めている。症状の変化にも気を配り、必要であれば主治医に相談している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう、家事や園芸を一緒に行い、気の合う方との交流や気分転換等の支援を行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や体調を見ながら希望に応じて対応している。外出の困難な方にも、外出を楽しんでもらいたいとの思いから、車椅子対応車を同系列事業所から借りて外出している	日常的に散歩やテラスでのお茶飲みを楽しんでいる。花見や千本銀杏見学等「年間行事計画」の他にも入居者の希望に応じて支援している。頻繁に外出支援を計画し、五感刺激や気分転換等に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご自分でお金を持っていたい方は、家族の了解を得て所持されている。一緒に買い物に行った時は、自分で支払いが出来るように支援している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望に応じて電話をしたり、ご家族に面会に来て頂いている。個人の携帯電話を持っている方は、自由に使用できるように支援している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天井も高く明るく広々として開放感があり、温度や湿度など毎日チェックしながら、生活感や季節感を取り入れ居心地のよい空間づくりを行っている</p>	<p>リビングからテラスに出られる開放的な作りの見晴らしの良い共用空間である。台所もオープンで食事の支度や配膳など生活を感じる。庭には季節の花々が咲き乱れ、海岸線の夕日や夜景が見られる素晴らしい環境にある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホール内では、一人に成りたい方や、気の合う仲間と話せるよう、テーブルや椅子の配置を工夫している。人数分のソファもあり、好きな場所で過ごせている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には、ご家族の写真や使い慣れた寝具、着慣れた衣類を用意している。本人様やご家族・職員が一緒になって居室の飾り付けを行っている	ベット、エアコン、クローゼット、洗面台が備え付けである。床全面にクッション性の高い素材を使用、転倒への配慮がある。利用者の個性・生活がわかる居室になっている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	施建物内部は、一人ひとりの力を生かし、自立した生活が安全に送れるよう、環境作りを行っている		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない